

◎チェルノブイリ救援・中部では、戸別訪問による募金活動は一切しておりませ
ん。不審なカンパ要請には充分ご注意下さい。

ポレーシエ

・・・チェルノブイリに思いをよせて

チェルノブイリ救援・中部 事務局から 1994.1.31 No.21

ミルクキャンペーンにご協力感謝します。
～粉ミルク合計5.5トン送ります～

昨年末にかけて恒例のミルクキャンペーンを展開しました。最近の不況のため
にこのような活動はあまり成功しないのではと心配していました。

しかし予想と異なり1000名以上の皆様より総額600万円を上回るカンパ
をいただきました。ご協力下さった皆様大変ありがとうございました。特に今回
より浜松および静岡のメンバーによる実施ということもあり、特に浜松市、磐田
市、静岡市およびその近郊の皆様にもミルク梱包のためのボランティア参加を含め
大きなご支援をいただきました。ありがとうございました。

また昨年末、10日間に渡ってポーランド経由でウクライナを救援・中部メン
バー3名が訪問しました。そして今回は在ポーランドウクライナ大使館およびウ
クライナ共和国高官と会うことができ、今後ヨーロッパからの救援医薬品の購入
と救援物資の運搬について協力を得られることになりました。



(写真:チェルノブイリ原発を訪問した救援・中部メンバー3名 1993.12.24
途中の無人の都市プリピャチにて。関連記事は4, 5ページに掲載)

ミルクキャンペーンを開始した昨年11月から今年1月7日までの集計では、カンパの総数は1034件で、総額626万4,500円となりました。この中にはコンサートを開いて下さった三輪弘美さん、スキムミルク現物1トンを下さった中部四ツ葉会会員の皆様のお金などが入っています。

これらのお金を元にチェルノブイリ救援・中部では粉ミルクを合計4,552缶(569箱、約4.5トン)を購入しました。そしてこれらの缶の一つ一つに皆様からのメッセージシール(ロシア語の使用説明書入り)を張り梱包しました。

これらのミルクは2月17日船積み出港後、約50日後にウクライナ共和国ジトーミル州の州立および市立の小児病院などに贈呈されます。尚、寄付金の一部は寄付団体の希望により保育機を購入して現地に送られることになりました。

メッセージカードも2,556通に

一方これとほぼ同時に行われている「ハートもハートキャンペーン」は、昨年末全国の皆様から合わせて2,556通のメッセージカードをお寄せいただきました。今回はイギリス、ドイツなど海外に滞在中の方からも寄せられています。

寄せられたカードは12月13日に他の救援物資(医薬品、超音波診断装置など820万相当)とともに飛行機で送られ、1月6日に現地に全て無事到着しました。最近ではこれらのカードは、小児病院などに配られ毎年新たなメッセージカードが届くまで、1年間子どもたちなどの病室の壁に貼られ、大きな励みになっているとのこと。これらは救援・中部の参加団体である、救援・岐阜の人達によって主に実施されています。今年も10月から2ヶ月間実施する予定です。まだ先ですがどうぞ今年もよろしくお願ひします。

カンパをお送りくださった皆様へ

これまでカンパを送っていただいた方には全て領収書をお送りしていましたが、今回の郵便料金の値上げは、会にとって大変大きな経済的負担となっています。このためとりあえず領収書の発行を停止し、どのように対処するか検討課題とすることにしました。

但し新たにカンパを送ってくださった皆様にもこのポレーシェを送らせていただきました。そして、これまで同様常に私たちの活動の内容を最大限お知らせするようにしていきます。

もし領収書が必要な場合はお手数ですがご連絡下されば直ちに送らせていただきます。尚紙面の都合上皆様のお名前全てをここに載せることができません。どうぞご了承ください。

ウクライナより

感謝状いただきました。

(以下訳文)

ウクライナ国チェルノブイリ対策省

(直訳：チェルノブイリの惨禍から住民を守るためのウクライナの省)

1993年12月27日

No. 1176/14

日本、名古屋

チェルノブイリ救援・中部

長谷川三知子 殿 (代表)

親愛なる長谷川様

私は、チェルノブイリの犠牲者を救援しようとするあなた方の活動に対し、感謝の意を表します。チェルノブイリの惨禍によって生じた諸問題を解決し、犠牲者を助けるために、あなたの基金の寄与は現在極めて重要であります。

残念なことに、最近次のような声を聞きます。すなわち、チェルノブイリ原発事故は7年前のことであり、現在人々の健康への影響はそんなにひどくはない、というものです。この意見は真実からは程遠いものです。この時期の技術上の災害としては最大級のもの(チェルノブイリ事故)の結果は、我々の国土を長年にわたって脅かし、何百何千という大人や子供たちの命を奪うでしょう。

そのゆえに、あなたの基金の気高い活動は、世界の人々に我々の共通の痛みであるチェルノブイリの惨禍を忘れないようにさせ、ウクライナの人々に真の助けをもたらす重要なものであります。我々は、あなた方の活動が善意の表現であると同時に、若く独立したばかりのウクライナとの関係を強化しようとする日本の人々の努力であると考えます。

我々は長谷川さん、あなたとすべてのあなたの仲間たちのご健康と幸せを祈ります。そして新年おめでとう。

敬具

大臣 G. ゴトフチツ (署名)

Г. Готовчицъ

事務局注：また昨年11月末来日したジトーミル州保険省の保険大臣 Z. M. パラモノフ氏からも救援・中部へ感謝状が贈られました。

ウクライナ訪問とこれから

昨年末12月20日から30日まで救援・中部の代表の長谷川三知子さんおよびメンバーの河田昌東さん、ステファン・コスティックさんの3人がポーランド経由でウクライナを訪問し、政府関係者、ヴィスニーク新聞関係者病院関係者と会談した他、チェルノブイリ原発を見学して来ました。その結果次のような合意を得ました。また新しいニュースをお知らせします（次頁掲載）。

1. ウクライナ国が物資輸送の協力（ウクライナ政府）。
2. より近いヨーロッパからの医薬品の購入
（在ポーランド・ウクライナ大使館が協力）

「石棺を閉じた男たち」夏の講演会から

除染作業にあたった消防士 オチュカーノフさんの話（抜粋）

上司に呼ばれて、チェルノブイリへ行かなくてはならないと言われました。その状態は深刻であり、多くの地域は放射能によって汚染されていて、除去作業が必要とされています。当時原発があったプリピャチという町との鉄道の連絡はほとんど切られて、処理作業に必要な貨物は全部プリピャチ川の港へ送られてきました。クレーン車はすべて放射能によって汚染されていて、貨物を降ろす作業も行われていませんでした。汚染は1時間に4～6レントゲンにまで達していました。（略）

除去作業というのはどんなことなのか説明しましょう。発電所の地域の除染作業というのは、地面に特殊な液体をふりかけて、その液体が乾いて膜を作ります。その膜は放射能が散らばるのを防ぎます。クレーン車の除去作業というのは、ビム（？）と操作室から放射能を洗い落とす事です。その作業は毎日繰り返さなければなりません。なぜでしょう？実は、原子炉は常に放射能を吐き出し、それは風によってまきちらされていて、当時は雨が降りませんでした。雨雲が現れると、飛行機が飛んでいき、その雲に特殊な液体をふりそそぎ、雲を壊滅させました。もし雨が降ったら、雨水はすべての放射能を川へ押し流し、プリピャチ川を汚染したろうし、そのプリピャチ川はドニエプル川やキエフの貯水池へ流れ込んでいます。・・・

（以上）

チェルノブイリ訪問で分かったこと

○ウクライナ政府の認める犠牲者数 1991年だけで711人

チェルノブイリ対策省国際協力局から受け取った「核の灰の中のウクライナ」と題するレポートの内容です。尚、以下はウクライナ国内のみの被害です。

1. ウクライナ共和国内でチェルノブイリ原発事故処理に参加した作業員の数は35万人でそのうち、5,287名が高レベルの第一級の障害者となった。そして1991年だけで711人の若い作業員が死亡した。
2. 放射能汚染レベル別の分類 (単位:人)

区分	市町村数	人口 (大人)	(子供)
1) 原発の疎開地域	76	91,275	(1986年疎開子供含む)
2) 強制移住対象 "	92	29,810	5,485
3) 自発的移住対象 "	835	658,405	180,671
4) 放射能嚴重監視 "	1,288	1,743,737	383,102
合計	2,215	2,431,952人	549,000人

3. 事故による土壤の放射能汚染面積

農業不可能地域	123,000ヘクタール
利用不可能地域	159,000 "
農耕地の汚染面積	440万ヘクタール
森林の汚染面積	440 "

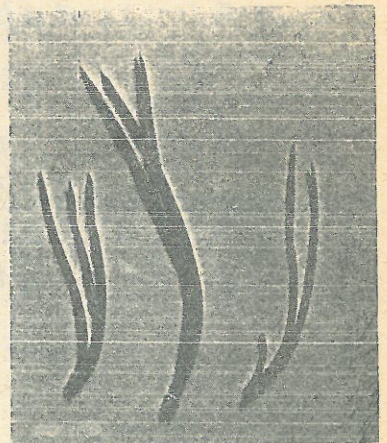
注:比較 北海道の面積=約835万ヘクタール

4. ウクライナにおける小児甲状腺ガン比較

チェルノブイリ原発事故前:年間1~2例
 " 事故後:56例

○松の異常は320種以上

プリピャチ近郊で行われている放射能の影響を調査しているセンターの係員の話によるとそこではプリピャチ市内から採取された松の種から松が育てられている。そして何百本とあるその松から320種以上の奇形が観察されている。右の写真はその一つで、本来2本あるまっすぐの松の葉が3本あり、よじれている。救援・中部メンバーが実物を持ち帰ったもの。



○シカに皮膚ガン・・・閉鎖された30Kmゾーン内で、車にはねられたシカを観察したところ足および腹部に皮膚ガンが広がっているのを発見した。

野田千恵子さんからの最後の手紙

～飛行機事故で犠牲に～

ロシア・シベリアのイルクーツク市郊外で今年1月3日正午ごろ、バイカル航空のイルクーツク発モスクワ行き旅客機が墜落、炎上し、乗員120人全員が死亡しました。乗客の中には、これまで救援・中部の翻訳協力をしていただいていた、野田千恵子さんが乗っており、ただ一人の日本人として犠牲となりました。この悲しみは言葉に表すことができません。野田さんのご冥福をお祈りします。



野田千恵子さん

事故前、お願いしたロシア語手紙の翻訳と一緒に救援・中部宛に送って下さった野田さんからの最後の手紙をご紹介します。そして野田さんの気持をいつまでも継いでいきたいと思います。尚、野田さんは大学（上智大学ロシア語科）卒業後、日ソの旅行社で勤務していました。

拝啓、

日毎 寒くなっておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

チェルノブイリ救援の活動もお忙しいようで、たいへんですね。

病気で苦しんでいるウクライナの子供達には、やはり、

言葉の壁があるとはいえ、同年代の子供達のはげますが、

一番力づよいではないかと思えます。今後もこのような活動をぜひつづけてください。

さて私はというと、12/11から6日間、ハバロフスクとイルクーツクへ添乗の仕事で行ってきます。冬のロシアになれているとはいえ、シベリアともなるといささか不安ですが、はじめてのシベリア鉄道ということもあり、結局楽しみにその日を待っているところです。

それではくれぐれもお身体には気をつけて。

敬具

12/9 野田千恵子

昨年12月7日に発送した医薬品（前回ポレーシェに紹介）は下記の病院および子供たちに贈られました。

病院関係・・・内務省病院・州立小児病院・ジトール第2病院・市立小児病院・州立小児病院を通じて市内23の小児病院給食部門へ
この他・ジトール子供の家・州立リューマチサナトリウム
・ジトール第1、2病院婦人科・州立結核病院。

学校関係・・・ジトール公立第4小学校・ラドミシュル公立小学校

以下子供氏名・・・ダイアチェンコ君（先天性糖尿病）・キリチャンスカヤさん（甲状腺異常）・ベリャク君（脳腫瘍）・コジレフ君（脳性麻痺）
・成人男性ドプロビンさん（腎臓病その他）・ミシュク君（髄芽細胞種）

（救援・中部よりワクチン等救援物資を贈った病院から）

ジトール市立小児病院

バシエック院長より

尊敬するチェルノブイリ救援・中部のメンバーの皆様！

1993年中ずっと、子供の予防接種のためのBCGとはしか用ワクチンは、皆さんからのワクチンを使いました。子供たちへのすべての予防注射とツベルクリン検査は、使い捨て注射器だけで行われています。

1才未満の子供200人以上がベビーフード“明治”を与えられました。

2500人の年少の子供たちに、貧血予防措置がとられました。

神経系の病気で苦しんでいる40人の子供たちの治療に使われた医薬品“ガン
ン”はきわだった評判をとっています。

去年“アロカ”（超音波診断装置）で3264件の超音波診断が行われました。
内訳は2676人の子供に超音波腹腔組織診断、588人の子供に超音波甲状腺
診断です。（中略）

チェルノブイリ原発事故で被災し苦しんでいる人々に対して皆さんが表してく
ださったご配慮とご親切とに対し、もう一度感謝の意を表します。

尊敬をこめて ヴラジミーミル・バシエック

（ジトール市立小児病院 院長）

事務局維持会員入会のお願い

チェルノブイリ救援・中部では膨大な事務作業をこなすために一昨年3月に事務局を開設しました。長期の救援を行うために皆様の維持会員を募っています。救援活動を続けるため入会をお願いします。

◎維持会員入会費 10,000円/年 (または1000円/月)

郵便振替口座：名古屋8-108610

(* 通信欄に必ず維持会員申込みと記入して下さい)

* * お知らせとお願い * *

- ・郵便料金の値上げにより通信費がピンチです。できれば年賀切手シートのカンパをお願いします。
- ・郵便料金高騰により現在カンパを贈って下さった皆様への領収書送付を一時取りやめています。ご了承ください。
- ・「たった一回の原発事故で」(救援・中部 編)が地湧社より発売となりました。ご希望の方は地湧社または救援・中部まで。一冊515円+送料51円
地湧社：郵便振替口座 東京2-36341
東京都千代田区神田東松下町十二番一号
(ミトモ第二ビル)
- ・「とどけウクライナへ 私たちの救援日誌」(坂東弘美著 八月書館) 定価1648円 書店または救援・中部までご注文ください。
- ・文通をされている皆様へ 手紙の翻訳は現在も受付けています。
- ・被災地の家族や子供たちから届いた沢山の手紙や絵が「絵はがき集」になりました。1セット5枚で300円です。救援・中部まで直接お申込みください。
- ・チェルノブイリ救援・中部のテレホンカード 一枚1000円50度数。
- ・現地ジャーナリストのネチポレンコさんおよび小児科医師ライサさんの来講演録全文。専門家の解説つき 一部350円。
- ・ポレーシェの内容についてご感想をお寄せください。
- ・業務連絡(〰)：各地のメンバーの皆様、催し予定や活動をお知らせ下さい。

チェルノブイリ救援・中部(郵便振替口座 名古屋8-108610)

事務局 〒466 名古屋市昭和区楽園町137 1-10

TEL.FAX:052-836-1073 (月、水、金曜日10:00-15:00)

(問い合わせはなるべく郵便で、できれば切手を添えた封筒を同封してください)